

小中高生のみんな!

スペースジョイナーズ

Space Joiners

に参加しよう!

あきの じゅんや
浅野 純也 (ライター)

インターネット ロボット競技会とは?

この秋、科学技術振興事業団 (JST) が主催する「インターネットロボット競技会」が開催されている。JSTは事業の一環として科学技術の理解を広めるためさまざまな取り組みを行っているが、今回のロボット競技会もその一環。科学技術への関心を広げるコンテンツとして始められたものだ。

基本的にはPC上でバーチャルロボットを作るプログラムを開発、統一ルールのもとでその評価を競うもの。参加者がPC上でプログラムを作成、シミュレーションで性能を確認したのち、プログラムをサーバに転送、そこで競技が行われる。インターネット上でこうしたロボコン (プログラミングコンテスト) が実施されるのは初めて。すでに夏休み期間にプレ大会を、10月には第1回大会を、11月から12月にかけて第2回大会が開催されている。また今後も来年1月と2月に開催が予定されている。

この競技会はその趣旨のとおり小学校高学年以上の生徒・学生の参加を想定しており、競技自体は特に難しいものではない。それに参加の敷居を低くするために競技にはバックグラウンドストーリーが用意されているのが特徴。目線が低く低く作り込まれている。

20xx年、人類は惑星探査&開発に着

手。巨大な無人宇宙母船・大地を建造し、その任務に当たらせていた。あるとき大地から開拓に適した惑星を発見したとの報告が入り、プロジェクトが始動。しかし開発に必要なロボットの設計者がまだ見つかっていない。そこで急速、当面必要な資材運搬用ロボットの開発に最適な設計者を選ぶために、ロボット設計とシミュレーションによる「インターネットロボット競技会スペースジョイナーズ」の開催が決定した。

と、これが設定の概要だ。そんなタイソウなプロジェクトなら最初からロボット開発を進めるでしょ! なんてツッコミは無粋というもの。オトナの目線で見守りたいところ。またこの競技会は全長1000mにもおよぶ母船・大地内の無人ロボット工場と競技フィールドを使って行われることになっているが、その点でインターネットを介して行われる実際の競技会とダブるよう工夫されているのは上手いと言える。設定には登場するキャラクターも用意されており、参加者に配布されるマニュアルにはマンガによる導入部もあってここにも取り組みのハードルを低めようとしているのが見て取れる。また設定を子細に読むと今後も広く発展させられるような仕組みがありそうだ。

そのコンセプトに敬意を払ってここからの原稿はやや目線を下げることにする。

参加方法

インターネットのロボット競技会、面白そうだなって思ったら、まずは競技会のWebページにアクセスしてみよう。大丈夫、難しいことはないからまずは参加してみたい。参加費などの費用は不要だし、資格に制限はない。やりたい! と思ったら誰でも参加できるんだ。ただしインターネットに接続できる環境とPCが必要だからお父さん・お母さんにあらかじめ相談することも忘れないように。

ちゃんと承諾を得たらスペースジョイナーズのWebページでルールなどをよく読んで上で参加希望のメールを送ろう。すると競技会参加用のソフトウェアが郵送されてくるので、自分のPCにインストールする。この作業もカンタンにできるぞ。ソフトウェアと同時にマニュアル類も送られてくるのでよく読んでおこう。

ソフトウェアのインストールが済んだらインターネットと接続した状態で起動しよう。ユーザー登録に必要なからだ。自分のユーザー名とパスワードを登録したら、ほら始まるぞ!

競技の概要とポイント

競技の内容を説明しておこう。目標はスタート地点からゴールまで自律移動する